

その他の精密機械器具製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	2～3	トラックを運転走行中、信号のある十字路交差点に青信号で直進していたところ、対向右折車と衝突事故を起こした。	54	231	17	10～ 29
2017	1	12～ 13	休憩中に4Fの食堂から3Fの職場に移動する際、4Fの階段途中から足を踏み外し、4Fと3Fの間にある踊場に転がり落ちた。	46	413	1	500 ～ 999
2017	1	8～9	朝、出勤時に会社の駐車場に車を駐車し、被災者が徒歩にて玄関へ向かって15M程進んだところで、凍結している路面に足を滑らせ転倒した。	48	419	2	50～ 99
2017	1	10～ 11	運転中に道路に積もった雪に乗り上げ、スリップし、中央分離帯に激突した。	48	231	17	100 ～ 299
2017	1	20～ 21	本社の工場内において、ステンレス製の勢衝撃試験装置（D3,000×W4,500×H2,800）の溶接作業中に脚立より足を踏みはずしたため、左足踵を骨折した。	63	371	1	1～9
2017	1	15～ 16	休憩所へ行くため工場2階作業場車出口より外階段踊り場へ出ていたが、2段構えとなっている踊り場の上段から足を滑らし、約20cm下の下段へ着地した際に右足を捻った状態で転倒し負傷した。	43	418	2	30～ 49
2017	2	4～5	旋回モーター性能検査場で油切り台車に仮置きされていた検査完成品を両手で持ち、完成品運搬台車へ載せようと移動した際、油で濡れていた床で左足が滑り、左側に姿勢を崩し、その際に台車上に置	31	416	2	50～ 99

			かかれていた製品のエッジ部と持っていた製品の間で左手が挟まれ受傷した。				
2017	2	19~20	クリーンルーム工場、金型成形機で金型を作業台の上で取り外す作業中、六角ボルトが取り外せなかったため、成形機の反対側から成形機に上がり作業をし六角レンチが外れた勢いで1.5mの高さから飛び降りるように落下し、右足踵を骨折した。	43	364	1	30~49
2017	2	14~15	当工場内において、マシニングセンターで金型の取付盤の加工作業をしていたところ、裏表の反転をさせる為にワイヤーで吊り上げたが、本来台の上でしなければならないワイヤーの掛け替えを吊り上げた状態で行ってしまい、ワイヤーが外れ作業中の取付盤とマシニングセンターの機械の間に左手中指が挟まれて負傷したものである。	53	159	7	10~29
2017	2	12~13	上下2段になった搬送ローダーで、上段に四角いプレート治具を並べ加工前メーターケース2個をセットする作業をしていた。昼休憩後に上段の加工前メーターケースが少なかったため、下段で空いたプレート治具を上段へセットする為に取り出そうと持ち上げたところプレートと上段ローダーについているブラケットの間に手が挟まり、つかえた状態のまま手を引き抜いた為、負傷した。	35	379	3	500~999
2017	2	10~11	自社の組立工場内において、クレーンで加工材料を吊るため、加工材料を寝かせようとしたところ思った方向とは異なった方向に傾いたため、慌てて右手で支えようとしたところ、右肩を痛めた。	43	921	19	50~99
2017	2	14~15	職場の自分の机で仕事をしている時、机の上にあったスプレー缶が下向きに落ち、駅が出て、ストーブの火から引火し、ズボンに火がついた。ズボンには作業時についた脂が染みついていた為、燃えだした。自分で火を消そうとしたが消えず、横で作業していた者が気づき、消火した。燃えて溶けたズボンが足に引っ付き両足を火傷した。	46	379	11	1~9
2017	3	14~15	工場内で脚立から降りようとしたら足がすべり脚立から落ちた。	28	371	1	1~9

2017	3	17~18	熱処理生産課ラインで、2人作業で段取り作業をしていた。被災者（機械本体の段取り）の作業が終わっていると思った別の作業者（搬送の段取り）が、製品の逆打ちチェックをするためにプレスを上昇させた。そのとき被災者はまだ機械に手を入れたままであったため、プレスとスライドプレートに左手中指を挟まれ骨折した。	34	154	7	500 ~ 999
2017	3	11~12	工場内に設置しているスポット溶接作業時に、フットペダルを踏み込んだまま溶接ピンの位置を修正しようと、右手人差し指を入れてしまい指を挟んだ。	42	169	7	10~ 29
2017	4	10~ 11	粉砕機による粉砕作業中、粉砕物が規定量になり、袋を交換しようと持ち上げた際（15~18kg）、右太もも辺りに痛みを感じ、歩行困難となった。	54	921	19	1000 ~ 9999
2017	4	9~ 10	本社研磨工場内でトイレに行った帰り、通路を歩行中に足がもつれてよろけ、左足が横に傾いた状態ですべり、足首を捻ってしまった。	31	921	19	30~ 49
2017	4	17~ 18	ボール盤で25t×210×300の厚板に25丸穴加工中、切粉が腕抜きに引っ掛かり、腕を巻かれた。	65	152	7	30~ 49
2017	5	8~9	横型専用フライス盤（中心溝切削機）の工具交換作業で、テーブル送りのボタンを押しながらテーブルを右限界へ移動し主軸ナットを緩め工具（カッター）を外すべきところ、左限界の位置で主軸ナットを緩め工具を外そうとしていた。手順の間違いに気付き、ナットを緩めていた為、工具とテーブルが干渉しない様に左手で主軸カラーを押さえて、テーブル送りのボタンを右手で押してテーブルを右へ移動したところ、主軸カラーとテーブルの隙間に左手中指を挟んだ。	41	152	7	500 ~ 999
2017	5	21~ 22	工場内の更衣室のある3階より作業場のある1階へ向かう階段において、足を踏み外して高さ約30cm（階段1段目）より足を着いた時に、挫いた状態で接地し、左足首を捻挫した。階段中央を歩いていたため、とっさに手摺りを掴むことが出来なかった。	34	413	19	10~ 29

2017	5	10～ 11	工場でクレーン上部レールを運搬台車に載せていた。（上部レール、L型アングル4本1束、1辺100mm×100mm、長さ9.2m、重量1.2t）上部レールが運搬台車の中央からずれた為、中央に寄せようと天井クレーン（2.8t）を使用し吊り上げ、地切りしたところ荷のバランスが悪かった為、スリングの位置を変更しようとクレーンを加工した時、左手でスリングを触っていたため、左手小指が上部レールと運搬台車に挟まれた。	57	211	7	1000 ～ 9999
2017	5	15～ 16	押出室から出る際に、椅子に足が引っ掛かり転倒し、左足膝下を強く打した。	47	391	2	500 ～ 999
2017	6	11～ 12	第一工場のトイレ脇の段差で、トイレに行こうと段差を上ろうとしていた時に、それまで降っていた雨の影響で、誤って足を滑らせてしまい、転倒した。その際、左手首と左膝を強く打ってしまった。	38	418	2	50～ 99
2017	6	23～ 24	4Fフォト外観工程で、カセット（約10kg）を台車からレーンに移す際、周りに人がいなかったため1人でレーンに移そうとした時、右側のバランスが崩れてカセットが落下しそうになった為、右胸上部で受けて負傷した。通常2人で作業するところを、1人で作業した。	44	611	6	300 ～ 499
2017	6	11～ 12	弊社工場内の棚に置いていた塗装部品箱の積み方が悪く、崩れそうになり、咄嗟に手を出したところ、棚に右手を強く打した。	32	611	3	10～ 29
2017	6	10～ 11	平常通り、工場内でグラインダー（30cm×13cm）で作業中、誤ってグラインダーが左足の内ももに接触して負傷したものである。	73	153	7	10～ 29
2017	6	2～3	請負先で、金属の表面を削る機械に鋼材（67×100×338、重さ約18kg）を機械テーブルにセットする際、左手を滑らせてしまい、機械テーブルと鋼材の間に左手小指を挟み、左手小指第一関節を骨折した。	21	521	7	10～ 29

2017	6	10~ 11	本社工場において、SPブローチ（金属棒）を汎用旋盤にて荒加工の作業を行っていた。その際に加工面の確認をしようと回転しているSPブローチに触れたところ、左手小指（軍手着用）を巻き込まれ負傷した。	40	151	7	100 ~ 299
2017	7	14~15	20kgのアルミ材料数本を積み下ろし作業中、材料置場でラックに積んであるアルミ材料を台車に乗せ換える作業をしているとき、台車の片側に材料を積載したために、台車がバランスを失い横転し支えようとした。左腕が引っ張られ、左肩を脱臼した。	43	362	19	50~ 99
2017	7	13~14	ボール盤（穴あけ機械）のテーブル上に機械部品（鉄板）をのせ、複数の穴をあける作業をしていた。次の穴をあけるため鉄板をずらそうとした時、手が滑り、鉄板が左足親指付け根辺りに落下した。安全靴を履いてはいたが負傷した。	62	521	4	1~9
2017	7	13~ 14	当社工場内において、フライス盤で材料（鉄、φ16、100L）を加工していたとき、材料をバイスでくわえながら、左手でフライスの刃物の加減をみていたところ、油断した際に親指を滑らせ、付け根が刃に触れた。慌てて避けようとしたため、中指と薬指の側面にも刃を当ててしまい受傷した。	83	152	8	10~ 29
2017	7	17~ 18	通水試験が終了したので、通水用ポンプを停止させるためにポンプ室に行き、踏み台を乗り越えて送水用バルブを締め、戻ろうとして再度踏み台に乗ったときに、踏み台が倒れて転倒した。転倒したとき、踏み台に左脛をぶつけ、踏み台角部の鋭利な部分で裂傷を負った。	47	416	1	500 ~ 999
2017	7	20~ 21	横中ぐり盤の定盤上で、製品（両端が円板状のフランジになった軸物）の端面フランジに取り付けた加工治具（φ1230×60t、重量約440kg）を、位置合わせのため回転方向に手で若干動かしたところ、治具（凸部）製品（凹部）のはまりこみ部分が抜けて、治具が定盤上に落下した。落下した後、治具が作業者に倒れ掛かり、左膝下を強打し、作業者はそのまま定盤と機械との間に倒れ込んだ。	34	152	4	50~ 99

2017	9	10～ 11	梱包作業中、梱包した製品をパレットに置く際、中腰で手を離れたところ、腰を痛めたものである。	60	611	19	50～ 99
2017	9	16～ 17	開発中の大型プリンタの寸法を測定するため、定盤（測定装置を設置した台）に、靴を脱いで上がり段取りを開始した。定盤上で作業中、滑ってバランスを崩し、左側斜め後方に左肩から転落した。	45	391	1	1000 ～ 9999
2017	10	8～9	1200トントライプレス北側の踏台（ボルスターモーターのカバー）の上に乗り、金型（上型）をプレスに固定する為のナットを締める作業で手に持ったスパナに体重をかけた時に、踏台から左足を踏み外して床に転落した。その際、左腕に体重がかかり、左手首を骨折した。発生後も労働していた。	62	371	1	50～ 99
2017	10	16～ 17	派遣先内積層室にて、カーボンシートを切断する自動切断機を操作中、カーボンシートが詰まる不具合が発生した。安全カバーの間から作業中の切断機のカッター部分に左手を入れ、詰まりを直そうとした際、下りてくる刃に左手の中指と薬指が挟まれた。	49	169	7	500 ～ 999
2017	10	10～ 11	当社内作業場にて、金型の組み立て・修正の作業中、金型部材をホイストを使ってワイヤ掛けし反転しようとしたところ、ホイスト操作ボタンの位置が高く、ワイヤ掛けの箇所が低かったため、腰を大きく曲げた体勢で作業したところ左肋骨を骨折した。	73	521	19	1～9
2017	10	10～ 11	本社材料試験センター内に於いてアルミ板材試験片のひずみ制御での疲労試験の際、トラブル発生により試験が停止した事を顧客へ電話報告しながら試験片の状態を確認しようと治具の間から左手で取り外そうとした時、ひずみの状態が変わり治具が作動し左拇指の根元を挟まれて負傷した災害。	38	391	7	10～ 29
2017	10	23～ 24	本人から監督者に右手首に痛みがあるとの報告があった。本人の話によると、金型交換作業で右手首を捻ったとのことであったが、見た者はいない。尚、当日に該当作業はなく、金型交換作業は別日に実施している。よって被災の事実は確認できていない。	38	169	19	500 ～ 999
			工場内板金タンク課A係にて、屋根の煙突に損傷部を発見し、それ				

2017	11	11~ 12	を確認するため自ら用意した脚立（高さ1.8m）の天板に乗り、両手で煙突を掴んで離れた時、バランスを崩し床へ落下し、地面に衝突した際、右手首及び右肋骨を骨折した。	57	921	19	50~ 99
2017	11	14~ 15	当社工場内において材料分別作業時、重なっている鉄板をバールを用いて中腰の体勢で分離中、しゃがんで力を入れたが、見込み重量より重かった為、鉄板が上がらず、腰に負担が掛かってしまい、腰を痛めた。当日はそのまま帰宅したが、翌日から立ち上がるごと、歩行が困難になり、病院へは後日に行けた。	60	521	19	10~ 29
2017	11	22~ 23	メディカル工場B棟1F成形室で、メンテ室から金型置き場まで、金型を金型交換台車に乗せて運搬中、ハンドルをきった際に、金型が台車から滑り落ちそうになった。台車を止めて落ちるのを防ごうとしたが、支えきれずに金型が右足甲の上に落下した。（高さ約380mm、重さ約800kg）メンテ室から成形室の扉下部分に段差があり、乗り越えるために勢いをつけて走行していた。	25	229	4	500 ~ 999
2017	11	19~ 20	製造工程内において、カテーテル成形品を顕微鏡下でカットしていたところ、右側に置かれていた書物専用机に肘を載せたところ、机が体と反対側にスライドし、バランスを崩して転倒した。その際に机に前頭部、床に肘をぶつけた。	26	391	2	500 ~ 999
2017	11	12~ 13	工場内のレール置場にて、レールの入っている木箱の蓋の釘を抜き処理している時、靴越しに釘を踏み足底に刺さった。大したことは無いと思い様子を見ていたが、腫れて痛みがひどくなったため受診した。	43	521	9	50~ 99
2017	12	14~15	関連会社から出向しており、出向先の工場内に於いて紙管のかたづけ作業中、紙管（直径10cm、長さ50cm位）を両手で抱えて移動中、足が床で滑って転び、手をついた際に右手を受傷した（スニーカー使用）。	58	416	2	10~ 29
			金型の合わせを行う為、ダイスポットにセット中、クレーン操作ボ				10~

2017	12	9~10	タンの下降ボタンを誤って操作してしまい、左手親指第一関節を挟んでしまった。(5tクレーン使用)	55	211	7	29
2017	12	10~11	工場内に於いて、塗装設備機械改造作業中、梯子をかけ高所で作業し下りる際、足を踏み外し、約2m下の地面に落下し、頭部を負傷したものである。	46	371	1	10~29
2017	12	8~9	当社工場内にて、始業にあたり作業所に移動する時、コンプレッサーのコードにつまづき転倒し、その際、左膝をついてしまい骨折した。	53	379	2	1~9
2017	12	15~16	社内工場で、マグネットのクレーンで製品(3m40cm)を吊っている際、その製品が周辺の物にぶつかり、マグネットが外れた。3m位の高さから吊っていた製品が落下し、右足の指のつけ根に当たり、5本とも指を骨折した。	18	211	4	50~99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html